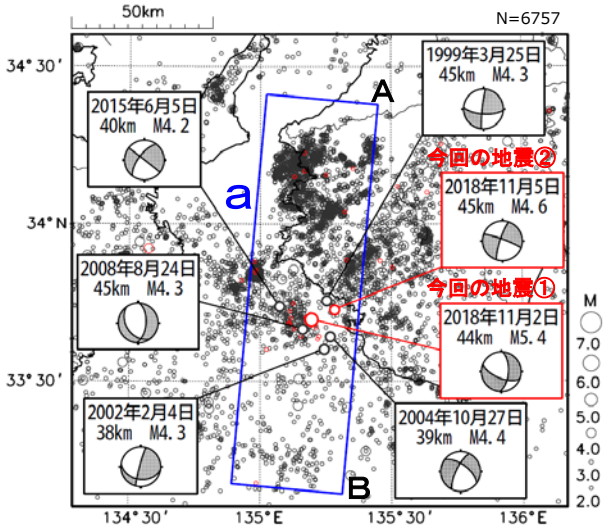


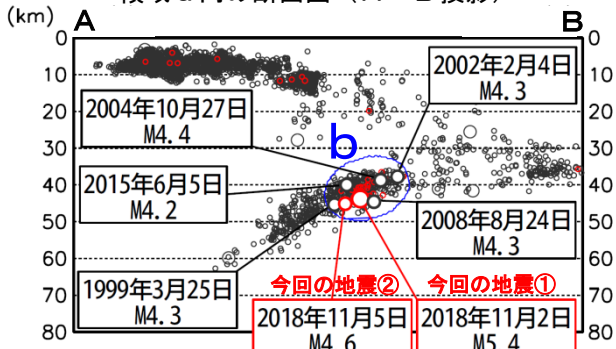
# 11月2日、5日 紀伊水道の地震

## 震央分布図

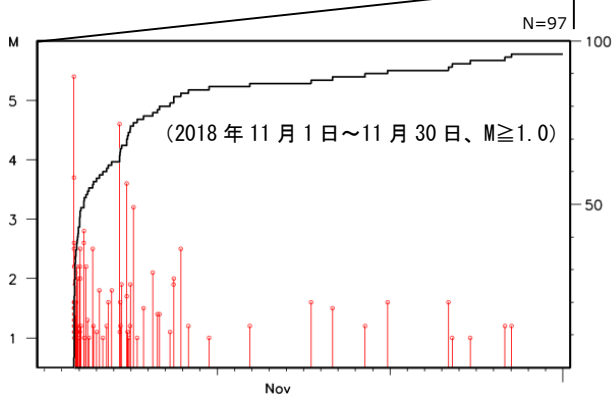
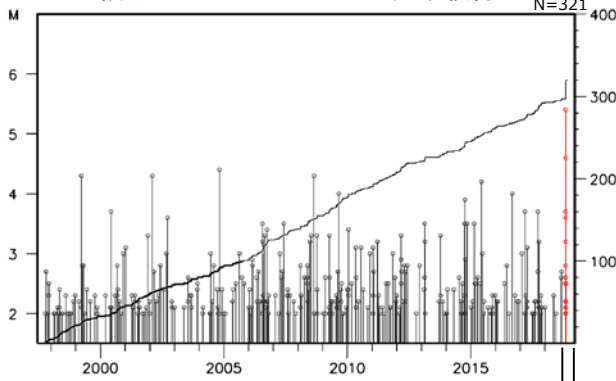
(1997年10月1日~2018年11月30日、  
深さ0~80km、M $\geq$ 2.0)  
2018年11月の地震を○で表示



領域 a 内の断面図 (A-B 投影)

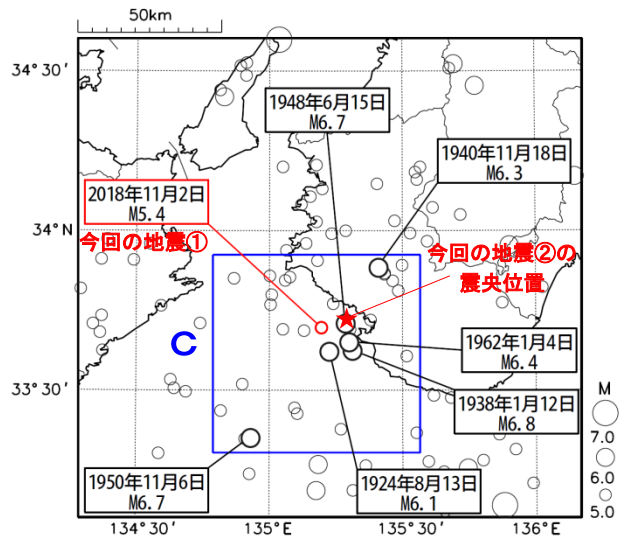


領域 b 内の M-T 図及び回数積算図

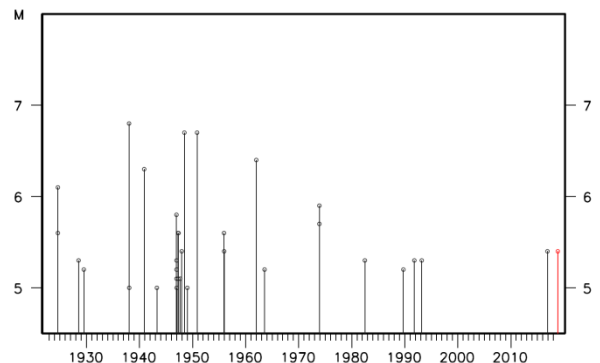


## 震央分布図

(1923年1月1日~2018年11月30日、  
深さ0~100km、M $\geq$ 5.0)  
2018年11月の地震を○で表示



領域 c 内の M-T 図



2018年11月2日16時53分に紀伊水道の深さ44kmでM5.4の地震(最大震度4)が発生した(今回の地震①)。また11月5日08時19分にも紀伊水道の深さ45kmでM4.6の地震(最大震度3)が発生した(今回の地震②)。これらの地震はいずれも、発震機構が東北東-西南西方向に張力軸を持つ横ずれ断層型で、フィリピン海プレート内部で発生した。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)では、M4.0以上の地震が時々発生しているが、M5.0以上の地震は今回の地震①が初めてであった。

1923年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、1938年~1962年にM6.0以上の地震が時々発生していた。このうち1948年6月15日に発生したM6.7の地震では、死者2人、負傷者33人、家屋倒壊60棟などの被害が生じた(「日本被害地震総覧」による)。